

株主メモ

- 事業年度 3月1日から翌年2月末日まで
- 定時株主総会 5月
- 基準日 定時株主総会 2月末日
期末配当金 2月末日
中間配当金 8月末日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 公告方法 電子公告により行います。
ただし、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (郵便物送付先) 東京都府中市日鋼町1番10 (〒183-8701)
(電話お問合せ先) 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417
(その他のご照会) ☎ 0120-176-417
- 同 取 次 所 住友信託銀行株式会社 全国各支店

株式会社テイツー

IR窓口:東京都港区芝公園二丁目4番1号 ダヴィンチ芝パークA館8F
TEL (03) 5408-5100 メールアドレスir@tay2.co.jp

インターネットホームページ <http://www.tay2.co.jp>

株主の皆様へ

第18期中間報告書

2007年3月1日 → 2007年8月31日

株式会社テイツー

Top Interview

トップインタビュー

中間期の業績 について

当中間期の業績は、古本市場事業においては、前期に引き続き新品ゲームや中古ゲームが売上を牽引し好調に推移していく中で、店舗レイアウトの変更やオペレーションの改善による既存店の店舗競争力を強化しました。アイ・カフェ事業においては、収益性を重視した厳選出店、コスト管理の徹底を図りました。EC事業においては、品揃えの強化による販売強化に注力するなど、ECサイトとして黒字体質への転換と定着化を図ってまいりました。

これらの結果、連結売上高217億4千7百万円（前年同期比9.9%増）、連結営業利益7億6千万円（同156.2%増）、連結経常利益7億5千3百万円（同185.2%増）、連結中間純利益は4億5千1百万円（同807.5%増）と中間期としては過去最高の成果を達成することができました。

「テイツー“もったいない”ファンド」 の設立について

当ファンドは、当社が強みをもつ「再使用（Reuse）」関連事業に加え、「資源再利用（Recycle）」および「消費削減（Reduce）」に関連する事業を行うベンチャー企業（3R関連企業）を対象に、主として資金面・経営面でサポートするとともに、3R関連市場拡大に伴う相乗効果から当社グループの企業価値向上につながることを目的として設立されました。今後も当社の経営理念である「満足を創る」を、当社のみならず、社会を通じて実現すべく精進してまいります。



代表取締役社長
大橋 康宏

通期業績の見直し について

連結売上高につきましては、直近の売上トレンドを勘案し、リサイクル品売上の増加と新品売上の減少、アイ・カフェFC出店戦略の見直しなどを見込んでいることから、450億円（当初計画と同額）となる見込みであります。

連結経常利益につきましては、中間期の好調を反映し、当初計画比1億8千万円増の12億円を見込んでおります。

連結当期純利益につきましては、連結経常利益の増加により、当初計画比1億円増の5億5千万円となる見込みであります。

Topics

トピックス

「Virtual AKIBA PROJECT」開始

当プロジェクトは、秋葉原中央通り沿いのAKIBA PLACEにリアル店舗を出店している当社グループが、3D仮想空間Second Life®内に秋葉原の街並みをリアルに再現する試みであります。

その第一弾として古本市場とアイ・カフェのセカンドライフ支店を構築し、2007年7月には、日本全国の古本市場で開催された夏のキャンペーン「古本市場夏祭」と連動して、Second Life®内でイメージキャラクターである森下千里さんのアバターをゲストにお呼びしてオープニングイベント開催。8月には、アイ・カフェAKIBA



PLACE店にて、クリエイターがSecond Life®上で「アイ・カフェセカンドライフ店」をリアルタイムで再現制作する、国内初のSecond Life®リアルタイムイベントを開催いたしました。これらのイベントは、422以上もの各種ニュース、ブログ等に記事として取り上げられました。今後もリアル×バーチャル双方向のコミュニティー空間を形成することで、テイツーグループのコーポレートブランド育成を目指します。



新規出店 （古本市場、 アイ・カフェ）

当中間期には古本市場2店舗、アイ・カフェ1店舗と合計3店舗の出店を行いました。古本市場は、中仙道店（岡山県）と東住吉店（大阪府）を出店し、直営店店舗網のドミナント展開を引き続き強化しております。また、出店から年数が経過した店舗の大幅改装（2店舗）を行いました。新規出店と並行して大幅な改装やスクラップ&ビルドを今後も進めてまいります。

アイ・カフェは、仙台駅西口店（宮城県）を出店いたしました。今後も、収益性を重視し、立地や賃借条件を厳選した出店を進めてまいります。



古本市場 東住吉店

Sales Activities

営業の概況



古本市場事業

古本市場事業においては、既存店の店舗競争力の強化に向け、古本を中心としたリサイクル品の販売体制強化、家庭用テレビゲーム市場活性化と音楽・映像パッケージソフト市場の縮小などマーケットの変化に対応した全店舗における店舗レイアウトの変更、出店から年数が経過した店舗の大幅改装、店舗オペレーションの改善等による業務効率化などに注力いたしました。販促活動におきましては、夏のキャンペーンとして「古本市場 夏祭」を実施し、売上拡大を図ってまいりました。

こうした結果、古本市場事業の売上高は201億8千9百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益は13億2千6百万円（同22.4%増）と大幅な増収増益となりました。

アイ・カフェ事業

アイ・カフェ事業においては、収益性を重視し、立地や賃借条件を厳選した出店を行いました。店舗運営面におきましては、新たなフードメニューや新サービスの導入、集客や拡販のための様々なキャンペーンの展開など、既存店増収策を実施するとともに、コスト管理の徹底を図りました。

しかしながら、連結子会社インターピア株式会社の新しい店舗運営POSシステムが開発途中にあることなどにより、アイ・カフェ事業の売上高は13億4千8百万円（前期同期比16.2%減）となりました。一方、利益面におきましては、アイ・カフェ直営既存店の売上増加とともに、直営店の出店数が前年同期5店舗から当中間期1店舗となったことなどにより、営業損失1億2千3百万円（前年同期は営業損失3億1千1百万円）と営業損失が大幅に減少いたしました。

EC事業

EC事業においては、買取促進のためのキャンペーンの実施ならびに品揃えの強化に努めたほか、「青年コミック特集」「タレント本特集」「DVD特集」など多様なコンテンツをお客様へ提供するなど販売強化に注力いたしました。加えて、RSS（ウェブサイトの更新情報を簡単にまとめて配信する機能）対応サービスの開始など、サイトの利便性の向上に努めてまいりました。

しかしながら、2007年2月にトナー事業を事業譲渡したことにより、EC事業の売上高は2億5千7百万円（前年同期比6.2%減）に留まりました。一方、利益面におきましては、利益率の高いリサイクル品の売上が着実に伸びたことなどにより、営業利益1千1百万円（前年同期は営業損失2千3百万円）となり、半期ベースでの黒字となりました。

こうした結果、当社グループは古本市場事業を中心に売上を伸ばし、連結売上高217億4千7百万円（前年同期比9.9%増）、連結営業利益7億6千万円（同156.2%増）、連結経常利益7億5千3百万円（同185.2%増）、連結中間純利益は4億5千1百万円（同807.5%増）と中間期としては過去最高の成果を達成することができました。

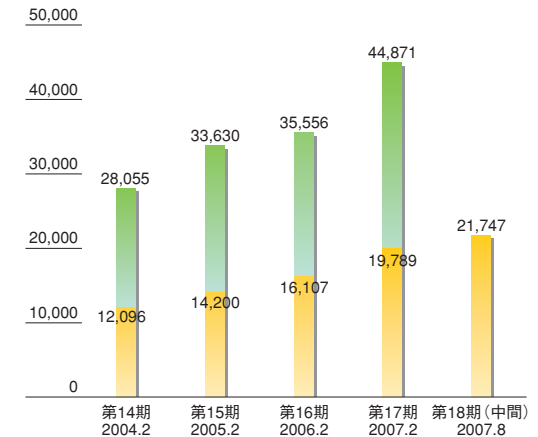
※事業の種類別セグメント情報は6ページをご参照ください。

Financial Highlight

財務データ(連結)

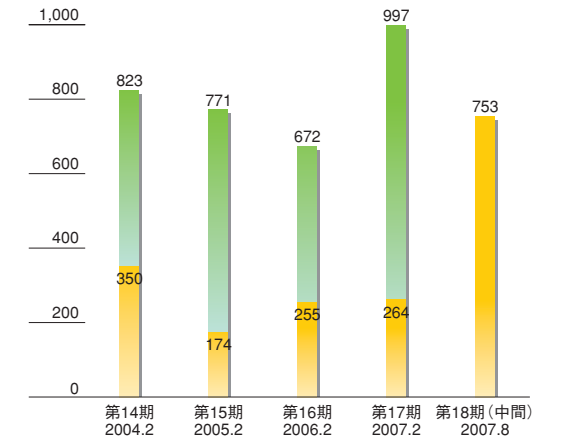
■ 売上高

(百万円)



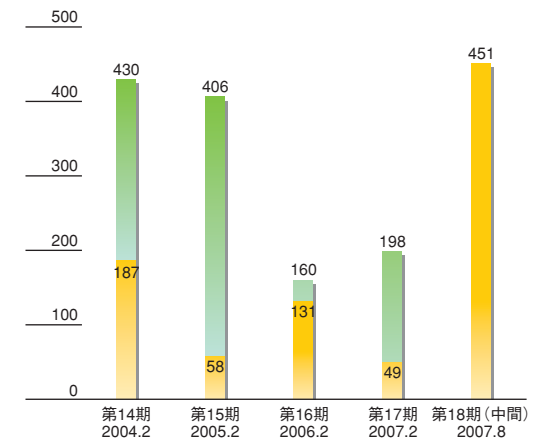
■ 経常利益

(百万円)



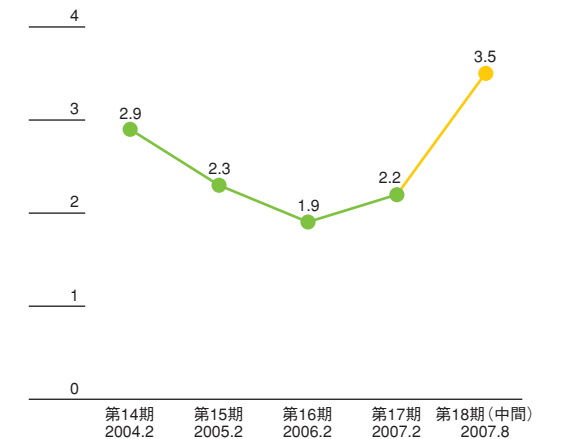
■ 中間(当期)純利益

(百万円)



■ 売上高経常利益率

(%)



Financial Data

中間連結貸借対照表(要約)

科 目	当中間期 (2007年8月31日現在)	前中間期 (2006年8月31日現在)	前 期 (2007年2月28日現在)
(資産の部)			
流 動 資 産	6,351	6,293	6,560
現金及び預金	1,310	1,500	1,477
たな卸資産	3,889	3,597	4,113
そ の 他	1,150	1,195	968
固 定 資 産	5,418	5,595	5,297
有形固定資産	2,344	2,680	2,297
建物及び構築物	1,820	1,988	1,750
土 地	242	242	242
そ の 他	281	449	304
無形固定資産	302	224	250
ソフトウェア	203	131	131
そ の 他	98	92	118
投資その他の資産	2,772	2,689	2,750
長期貸付金	527	522	530
差入保証金	1,595	1,514	1,568
そ の 他	648	652	651
資 産 合 計	11,769	11,889	11,858

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (2007年8月31日現在)	前中間期 (2006年8月31日現在)	前 期 (2007年2月28日現在)
(負債の部)			
流 動 負 債	4,890	4,813	5,083
買 掛 金	1,270	1,714	1,859
短期借入金	1,250	905	900
1年内返済予定長期借入金	810	927	902
そ の 他	1,559	1,265	1,422
固 定 負 債	2,145	2,781	2,375
長期借入金	1,655	2,336	1,895
そ の 他	490	444	479
負 債 合 計	7,036	7,594	7,459
(純資産の部)			
株 主 資 本	4,456	3,998	4,090
資 本 金	1,165	1,165	1,165
資本剰余金	1,119	1,119	1,119
利益剰余金	2,491	2,003	2,095
自己株式	△ 320	△ 290	△ 290
評価・換算差額等	3	3	4
その他有価証券評価差額金	2	3	4
新 株 予 約 権	2	—	—
少数株主持分	270	292	303
純 資 産 合 計	4,733	4,294	4,399
負債・純資産合計	11,769	11,889	11,858

ポイント
解説
1

売上好調な状況下においても、適正在庫水準の維持に努めた結果、商品在庫回転率が向上し、たな卸資産が減少しました。

ポイント
解説
2

たな卸資産の減少に伴い、買掛金も減少しております。

中間連結損益計算書(要約)

科 目	当中間期 (2007年3月1日から 2007年8月31日まで)	前中間期 (2006年3月1日から 2006年8月31日まで)	前 期 (2006年3月1日から 2007年2月28日まで)
売 上 高	21,747	19,789	44,871
売 上 原 価	16,290	14,962	34,518
売 上 総 利 益	5,457	4,827	10,353
販売費及び一般管理費	4,696	4,530	9,313
営 業 利 益	760	296	1,040
営業外収益	60	59	117
受取利息及び配当金	4	1	4
そ の 他	55	57	113
営業外費用	67	91	160
支払利息	29	28	60
そ の 他	38	63	99
経 常 利 益	753	264	997
特別利益	0	14	105
特別損失	24	134	491
税金等調整前中間(当期)純利益	728	143	611
法人税、住民税及び事業税	310	121	472
法人税等調整額	—	—	71
少数株主損失	△ 33	△ 27	△ 131
中間(当期)純利益	451	49	198

(単位：百万円)

ポイント
解説
3

古本市場事業を中心に、過去最高の成果を達成しました。

事業の種類別セグメント情報

当中間期 (2007年3月1日から2007年8月31日まで) (単位：百万円)

	古本市場	7i+カ1	EC事業	消法は社	連結
売上高					
外部顧客に対する売上高	20,182	1,348	216	—	21,747
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	—	40	△ 47	—
計	20,189	1,348	257	△ 47	21,747
営業費用	18,862	1,472	245	406	20,986
営業利益	1,326	△ 123	11	△ 453	760

前中間期 (2006年3月1日から2006年8月31日まで) (単位：百万円)

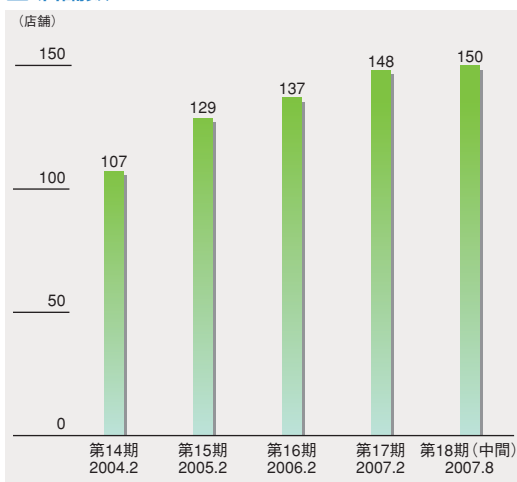
	古本市場	7i+カ1	EC事業	消法は社	連結
売上高					
外部顧客に対する売上高	17,937	1,609	241	—	19,789
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	—	32	△ 33	—
計	17,939	1,609	274	△ 33	19,789
営業費用	16,855	1,921	297	418	19,492
営業利益	1,083	△ 311	△ 23	△ 451	296

Financial Data

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科目	当中間期 (2007年3月1日から 2007年8月31日まで)	前中間期 (2006年3月1日から 2006年8月31日まで)	前期 (2006年3月1日から 2007年2月28日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	473	882	1,596
税金等調整前中間(当期)純利益	728	143	611
減価償却費	223	232	483
その他営業活動による増減額	△ 99	598	781
小計	853	975	1,877
法人税等の支払額	△ 354	△ 62	△ 219
その他	△ 25	△ 29	△ 60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 623	△ 625	△ 936
有形固定資産の取得・売却による収支	△ 231	△ 538	△ 733
無形固定資産の取得による収支	△ 48	△ 25	△ 67
差入保証金の払込・返還による収支	△ 27	△ 94	△ 136
その他	△ 315	33	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 67	△ 209	△ 635
短期借入金の純増減額	350	△ 794	△ 800
長期借入金の借入・返済による収支	△ 331	609	143
その他	△ 85	△ 24	21
現金及び現金同等物の増加額	△ 217	48	25
現金及び現金同等物の期首残高	1,394	1,369	1,369
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	1,177	1,417	1,394

店舗数



ポイント 解説 4

仕入債務の減少等により、その他営業活動によるキャッシュ・フローは減少しております。

中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間 (2007年3月1日から2007年8月31日まで)

	株主資本					評価・換算差額等		新株 予約権	少数株 主持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他利益剰余金	為替換算調整勘定			
2007年2月28日 残高	1,165	1,119	2,095	△ 290	4,090	4	0	-	303	4,399
中間連結会計期間中の変動額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
剰余金の配当(注)	-	-	△ 56	-	△ 56	-	-	-	-	△ 56
中間純利益	-	-	451	-	451	-	-	-	-	451
自己株式の取得	-	-	-	△ 29	△ 29	-	-	-	-	△ 29
株主資本以外の項目の中間 連結会計期間中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	△ 1	1	2	△ 33	△ 31
中間連結会計期間中の変動額合計	-	-	395	△ 29	365	△ 1	1	2	△ 33	334
2007年8月31日 残高	1,165	1,119	2,491	△ 320	4,456	2	1	2	270	4,733

(注) 2007年5月の定時株主総会における利益処分項目であります。

中間貸借対照表(個別)

(単位: 百万円)

科目	当中間期 (2007年8月31日現在)	前中間期 (2006年8月31日現在)	前期 (2007年2月28日現在)
(資産の部)			
流動資産	5,596	5,219	5,767
現金及び預金	760	764	831
たな卸資産	3,792	3,538	4,051
その他	1,043	916	884
固定資産	5,037	5,491	5,099
有形固定資産	1,535	2,347	1,481
建物	1,002	1,622	953
その他	533	724	528
無形固定資産	150	93	88
投資その他の資産	3,350	3,051	3,528
差入保証金	1,264	1,434	1,254
その他	2,086	1,616	2,273
資産合計	10,633	10,710	10,867
(負債の部)			
流動負債	4,261	4,227	4,530
買掛金	1,215	1,469	1,803
短期借入金	1,200	900	900
1年内返済予定長期借入金	583	761	655
その他	1,263	1,096	1,171
固定負債	1,494	2,270	1,747
長期借入金	1,060	1,843	1,324
その他	434	427	423
負債合計	5,756	6,498	6,278
(純資産の部)			
株主資本	4,872	4,208	4,584
資本金	1,165	1,165	1,165
資本剰余金	1,119	1,119	1,119
資本準備金	1,119	1,119	1,119
利益剰余金	2,907	2,213	2,589
自己株式	△ 320	-	△ 290
評価・換算差額等	2	3	4
その他有価証券評価差額金	2	3	4
新株予約権	2	-	-
純資産合計	4,877	4,212	4,588
負債・純資産合計	10,633	10,710	10,867

中間損益計算書(個別)

(単位: 百万円)

科目	当中間期 (2007年3月1日から 2007年8月31日まで)	前中間期 (2006年3月1日から 2006年8月31日まで)	前期 (2006年3月1日から 2007年2月28日まで)
売上高	20,192	18,738	42,244
売上原価	15,090	14,180	32,474
売上総利益	5,102	4,557	9,770
販売費及び一般管理費	4,246	4,196	8,548
営業利益	856	361	1,221
営業外収益	59	57	123
営業外費用	53	79	136
経常利益	862	340	1,209
特別利益	0	11	48
特別損失	183	121	214
税引前中間(当期)純利益	678	230	1,042
法人税、住民税及び事業税	304	120	462
法人税等調整額	-	-	37
中間(当期)純利益	374	110	542

Stock Information

株式の状況/会社の概要

株式の状況 (2007年8月31日現在)

■ 発行可能株式総数	2,000,000株
■ 発行済株式の総数	551,400株
■ 株主数	6,870名

大株主

株主名	持株数	出資比率
有限会社ワイ・エイ・ケイ・コーポレーション	165,000 株	29.92 %
秋山 良夫	20,000	3.63
ティーツ従業員持株会	12,043	2.18
株式会社山陰合同銀行	11,000	1.99
東京海上日動火災保険株式会社	10,000	1.81
大橋 康宏	8,854	1.61
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,036	1.46
株式会社中国銀行	8,000	1.45
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,000	1.27
株式会社トマト銀行	6,000	1.09
住友信託銀行株式会社	6,000	1.09

(注) 当社は自己株式43,450株を保有しておりますが、表記しておりません。

会社の概要 (2007年10月1日現在)

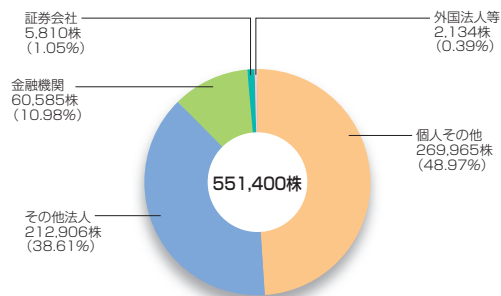
商号	株式会社ティーツ
英訳名	TAY TWO CO.,LTD.
店舗名	古本市場、ふる ^{ふる} 1、ブック・スクウェア、アイ・カフェ
創業	1989年10月
設立	1990年4月
本社	岡山県岡山市今村650番111 TEL (086) 243-8600
東京本部	東京都港区芝公園二丁目4番1号 ダヴィンチ芝公園A館8F TEL (03) 5408-5100
代表者	代表取締役社長 大橋 康宏
資本金	1,165,507千円
*従業員数	451名 パート・アルバイト1,584名

*主な事業内容

古本、TVゲームソフト・ハード、DVD、CD等の販売・買取、新刊書籍の販売およびビデオレンタル業務、アイ・カフェ(インターネット・コミックカフェ)の運営

(注) *はティーツグループ全体に関する記載であります。

所有者別株式分布状況



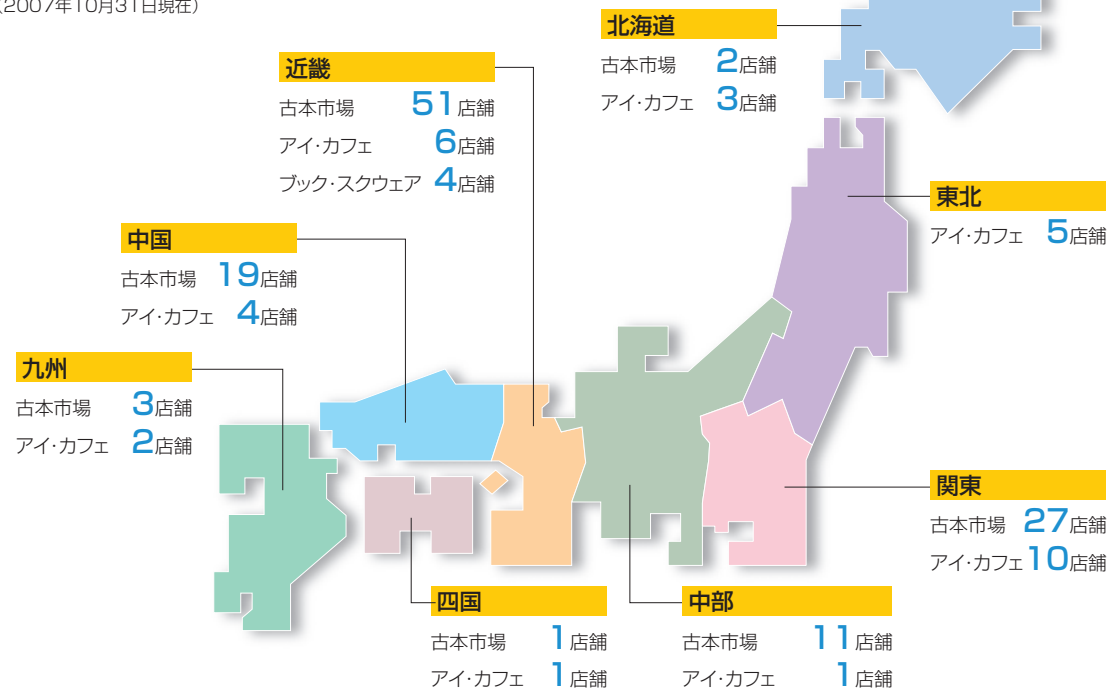
役員 (2007年10月31日現在)

代表取締役社長	大橋 康宏
常務取締役	堀 久志
取締役	北村 清人
取締役	関本 慎治
取締役	森崎 俊朗
取締役	片山 靖浩
取締役(社外)	安田 育生
取締役(社外)	吉田 就彦
常勤監査役(社外)	西川 豊
常勤監査役(社外)	武田 由隆
監査役(社外)	平田 修
監査役(社外)	岡本 博之

Net Work

ネットワーク

(2007年10月31日現在)



新店舗

古本市場

中仙道店	岡山県岡山市中仙道223-1	2007年 7月26日オープン
東住吉店	大阪府大阪市東住吉区公園南矢田1-28-6	2007年 8月 9日オープン

アイ・カフェ

仙台駅西口店	宮城県仙台市青葉区中央3-6-1	2007年 6月29日オープン
--------	------------------	-----------------